

平成 30 年度第 1 回津島市スポーツ推進審議会議事録

日時 平成 30 年 7 月 10 日 (火)
午後 3 時 30 分～午後 4 時 20 分
場所 錬成館 1 階礼の間

出席者 審議会委員 水谷会長、大鹿副会長、久堀委員、黒部委員、木村委員、
後藤委員、浦上委員、小林委員
事務局 長谷川事務局長、中嶋課長、内原、鈴木

1 あいさつ

(水谷会長)

津島市のスポーツ振興のため、委員のみなさんそれぞれの立場より忌憚のないご意見、ご審議をお願いします。

2 議題

(1) スポーツにおける怪我について

事務局：平成 29 年度分の全国市長会賠償保険適用分 2 件について報告。

- ・ 6 月 18 日 錬成大会 (柔道)
- ・ 10 月 19 日 スポーツフェスティバル

平成 30 年度については、今のところ全国市長会賠償保険を適用する怪我の報告は無い。

参考として、6 月 30 日 (土) に生涯学習センター小ホールで行われた第 55 回津島市民総合体育大会開会式で、スポーツ安全保険にも携わる東京海上日動火災保険株式会社の方より、体育協会の指導者に向けて、準備運動や正しい指導等の大切さ、事故が起きないための準備 (リスクマネジメント) が重要との話があった。

委員：異議なし

(2) 平成 29 年度スポーツ施設及び利用状況について

事務局：各施設の平成 29 年度利用状況について増減を中心に説明。

錬成館の利用人数の減は主に近的弓道場での利用が減少。利用状況を確認すると、主に平日利用が多い中学生の部員自体が減少していた。総合プールについては、今年 1 月 25 日より屋内プールを休止したことによる 2 か月間の利用人数減少。

葉苺スポーツの家は、利用者数としては減少、件数は増加。午前・午後・夜間とも利用率の高い施設となっている。

委員：津島のプールはこの地域で見ても貴重。屋外が7月からオープンしているが、周辺自治体の公営プールの多くは閉鎖している。

委員：プールが無くて利用していた学校も困っているのでは。

委員：中学校では神守、藤浪が学校にプールが無く、屋内プールを利用していた。今は小学校のプールを借りたり、民間のプール施設を借りている。学習指導要領では泳力指導については少なくなってきたのが現状。

委員：そもそも学校にプールがないことについてはどうか。

事務局：屋内プールの今後については、まだ方向性が決まっていない。

今後、津島市に限らず各学校のプールも年数が経ち、老朽化も進んでくる。新たに作ろうとしても修繕しようとしても多額の費用がかかる。1校1プールから複数校で1プールを使用するのが今後の流れになるのではないか。

委員：錬成館のボイラーが壊れ風呂が使えなくなり、合宿での利用が減っていると聞いている。財政的に困難であることはわかるが、例えばシャワーだけでもつけるとか対応してほしい。

事務局：安価でできるようないろいろな方法を検討しながら、予算化できるように努力していく。

(3) 平成 29 年度スポーツ事業実施状況について

事務局：前年度から参加人数の増減のあったもの、新規の事業を中心に説明。

7月21日から31日まで天王川公園で実施したみんなのラジオ体操の人数減少は、急な大雨で2日中止となったほか、天候不良が続いたため。また夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会を、かんぽ生命、NHK等と協力し東公園グラウンドで開催。体育協会やスポーツ推進委員をはじめ、たくさんの方々にご協力いただき1,200人以上の参加。総合型地域スポーツクラブの29年度参加者数が28年度と比べ500人ほど増加。延べ会員数自体が増えた。クラブではおおよそ14種目ほど実施。今年度より活動の財源となるよう、協賛企業の広告欄をパンフレットに設けた。

学校体育施設開放状況については、体育館とグラウンドをあわせ合計で4,000回以上の利用。平成29年度の登録団体は延べ83団体。種目としては、バレーボール、バスケット、バドミントン、少年野球の団体が多い。

委員：ホワイトウイングズの活動はぜひ継続していただきたい。今年度から広告欄を設けたとのことで、今後も財政的に安定するように補助を続けてほしい。

(4) 平成30年度スポーツ事業計画について

事務局：おおよそ例年並みの計画。先日開会式が行われた市民総合体育大会（夏季大会）については8月5日、バドミントンについては7月29日、秋季大会は10月、11月にかけて行われる。スポーツフェスティバルは10月14日、天王川マラソンは12月2日、津島市駅伝競走大会は1月27日実施予定。

毎年愛・地球博記念公園で行われている市町村対抗駅伝競走大会は12月1日に開催予定。津島市では8月25日にその選手選考会を開催。

委員：異議なし

(5) 学校体育施設開放事業と行政財産目的外使用について

事務局：現在、学校の体育施設を借りる手段として、申請方法も鍵の開閉方法も違う2つの制度が運用されている状況。

委員：確かに利用する時、鍵を管理人さんが開けてくれる場合と学校の先生が開けてくれる場合、鍵を学校から借りる場合等がある。目的外では土日等に学校の先生がいて開閉してくれることもあるが、何らかの形で鍵の開閉について統一されることが望ましいのでは。

委員：学校開放運営委員会でも同様の話がでていたと思うが、どのような方向性か。

事務局：学校開放運営委員会での意見をもとに、この審議会で提示させてもらった。委員からの意見のとおり、鍵の開閉の対応が分かれるため、その方法を統一することや予算化も含めて検討していきたい。

(6) その他

事務局：特になし